

あなたの街にも！



導入済の医療機関さまの声 | 川崎市川崎区 小児予防接種

小児科医 M クリニック | O 先生

「harmo ワクチンケア」は操作が簡単で、メインの機能である接種間隔のチェックはきちんと確認してもらっているという安心感があります。

また、複数回接種するワクチンの場合に前回の接種が他院の場合は、接種部位が特に参考になると感じています。



小児科医 K クリニック | K 先生

「harmo ワクチンケア」は予防接種の間隔チェックの他に接種部位を登録できる機能があり、毎回違う場所に打つことができるので、便利に利用させてもらっています。「harmo ワクチンケア」がもっと普及すれば、当院の記録だけでなくこの病院で何を打ったかを把握することができるのでたくさんの患者さんが使ってくれればいいなと思いました！



小児科医 G クリニック | G 先生

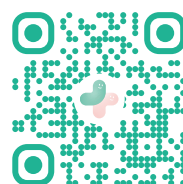
当院では診察の際に母子手帳と「harmo ワクチンケア」を用いて接種間隔のダブルチェックを行っています。システムを使って問題なければ正しいんだという安心感があります。このシステムはワクチン接種の間違いをなくするという意味でとてもいい仕組みだと思います。これからも「harmo ワクチンケア」の進化を楽しみにしています！



導入をご検討の医療機関さま

多くの医療機関でご利用いただき、さまざまな“現場の声”を反映したより良いサービスとするため、基本利用料は無料で提供しております。
アプリストアよりダウンロードが可能です。

企業・自治体等の方はHPの問い合わせフォームよりご連絡ください。



harmo株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦 1-1-1

harmo（ハルモ）は、シミックグループの一員としてharmoおくすり手帳や小児向けの予防接種管理が可能なharmo ワクチンケアなど、個々人の医療・健康情報を個人やご家族が活用可能なシステムを展開しています。



<https://www.harmo.biz/vaccine-care/>

VCM_202504_PF



予防接種管理サービス

ハ ル モ



安いでつながる これからの 予防接種管理アプリ



接種ルールの自動チェック機能で

接種間違いを防ぐ

※小児科医監修のもと開発をしています。

最新の接種ルールに

対応しているから安心して使える

ワクチンのバーコードを読みとるだけで

正確な接種記録を簡単に登録

接種記録を簡単に

電子カルテへ転送可能

アプリ連携で

医療機関と患者さまをつなぎ、
予防接種と一緒に管理

ワクチンの回収情報等を

タイムリーに受け取れる

※登録された接種情報等をもとに関連する
医療機関にのみご案内します。

★医療機関、自治体集団接種会場、
訪問接種など場所を選ばずに、スマホ・
タブレットどちらでもご利用可能です

医療機関アプリ★

ユーザーアプリ

打ち忘れ防止の通知や接種時期の表示により、

スケジュール管理をサポート

接種間違い防止機能で

より安心・安全に接種を受けられる

※「接種間違い防止機能」は医療機関で使用するアプリの機能であり、
harmoワクチンケア導入医療機関で接種を受けた場合に限りま。

接種した記録はアプリに

自動反映され、簡単に管理できる

※harmoワクチンケア導入医療機関で接種を受けた場合に限りま。

接種したワクチンの安全性に
関するお知らせ等、通知による

アフターフォローを受けられる

接種した記録は**家族に共有**できる

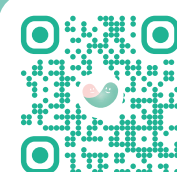
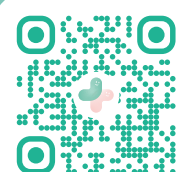
マイナポータル連携で

過去の接種記録を簡単取得



医療機関アプリの詳細

ユーザーアプリの詳細



医療機関へのアプリ導入イメージ

ユーザーアプリ

接種記録のリアルタイム連携

医療従事者向けアプリで登録された接種記録が自動反映され、お帰りの際には、患者さまのお手元でも当日の接種記録を確認できます。



ユーザーアプリ

チェックイン

患者さまは来院後、医療機関の受付に設置してある専用二次元コードを読み取り、個人情報や過去の接種履歴などを医療機関へ提示することに同意します。

医療機関アプリ

接種間違い防止機能①（理論チェック）

チェックインされた患者さまの情報をもとに当日時点で接種可能なワクチンを確認します。

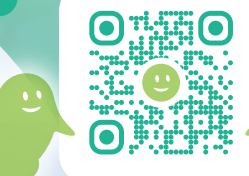
医療機関アプリ

接種記録の転送機能

二次元コード化された患者さまの接種記録を電子カルテに接続したバーコードリーダーで読み取ると、簡単に接種記録を電子カルテへ転送できます。

電子カルテデータ転送

電子カルテ転送



接種完了

接種情報の登録

医療機関アプリ

接種情報の登録

ワクチン接種後、接種部位などを選択し登録ボタンを押します。接種情報はクラウドサーバーに登録されます。

医療機関アプリ

接種間違い防止機能②（現物チェック）

ワクチン箱に表示されているGS1コードをアプリのカメラで読み取り、ワクチンの情報（ロット番号や有効年月日など）を自動取得します。その際、理論チェックに加え、ワクチンの有効年月日が切れていないか現物チェックを行い、接種可否を判定します。



打ち忘れ防止のお知らせ

接種間隔が長く空く場合や無料接種期間が限られているもの等について、適切なタイミングで通知によるフォローを行います。



ワクチン固有の情報をお知らせ

ワクチンの安全性に関する問題が公表された場合、ロット番号などのワクチン固有の情報に合わせて正確性の高い情報をタイムリーにお届けします。

母子健康領域における取組みと実績



ワクチンケアは子育てDX/乳幼児デジタルデータヘルス事業を推進することで自治体業務のデジタル化や医療・ヘルスケア分野における社会課題解決に貢献して参ります。



データ実績

2025.4.3 時点

登録データ数
74,663

登録人数
5,673

導入医療機関
70

接種間違い防止件数
162

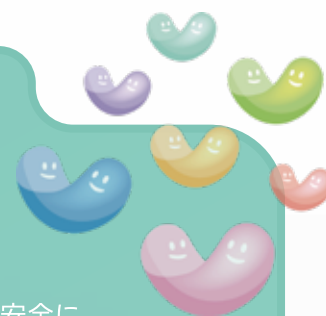
定期接種対象期間外：57件
同一ワクチンの接種間隔不足：31件
定期接種可能回数超過：28件
交互接種間違い：13件
価数違い：11件
接種可能期間外：10件

生ワクチン同士の接種間隔不足：4件
コロナと他ワクチンとの接種間隔不足：2件
有効期限切れ：2件
定期接種ワクチン対象外：1件
その他：3件

(2025/2/1 時点)

ワクチンケアを使用している医療機関で接種間違いを未然に防止

母子保健情報デジタル化実証事業



現在、国では医療分野におけるデジタル化を推進しており、関係機関や行政機関等の間で介護保険、予防接種、母子保健などに係る必要な情報を安全に交換できる情報連携基盤の整備を目指しています。

その中で 医療助成、予防接種、母子保健のユースケースにおいて、自治体と医療機関の情報連携機能をもつシステム『**Public Medical Hub (PMH)**』を開発しており、私たちはその **PMH** と情報連携するための『**予防接種実施医療機関向け母子保健アプリ**』の開発に携わっています。

自治体・医療機関・保護者などの間でスムーズに情報共有ができる体制を構築し、母子健康情報のデジタル化推進に寄与してまいります。

